



刊夕日二十二月二

定部金貳錢 廣五號十二 刊休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

寄書 菅の皮 (四) 醫師 荒木治義 病名争ひ

看護婦派出の求めに應ず 平町南町 看護婦會 電話三〇七番

座敷女中 頼みたし 希望の方は至急面談 平町田町 石川亭 電話四三番

珍妙結婚記 小島洋々 歌川八重子共演 大帝キネト作 松本三郎 中村小福共演

御料理仕出し うどん そば 天ぷら 鰻蒲焼

新築移轉 耳鼻咽喉科専門 氣管食道科 大和田醫院

御進物には ヤマフルの商品券が一番 鹽屋 金山崎合名會社 福島縣平町 電話(營業部)一〇番 (醸造工場)二七番

ホシゴム長靴 大賣出し 筒型劍型二重のキャンパス 入重要點は五枚張り、殊に 中底は獨特の技術に依り、 銅鐵の如く堅く、而も非常 に軽く、クギも通らぬ新案品 でありませぬ。

春の装ひ 大島緋と錦紗小紋 一うす色地模様銘仙 羽二重帯皮 三秀會特選帯皮

齋藤寫眞館 美術引伸 寫眞專門 永久不變 平町三丁目 電話三十八番

令弟工學士中島廣勝儀永らく病氣之處本月十二日死去並に末弟良廣儀突 然腹膜炎に腦症併發全月十四日死去 致し候間乍略儀以紙上御通知申上候 追即來る廿五日午後一時より二時迄の間自 宅に於て告別式執行可致候 尙亡母前年假葬の處併せて本葬相營候に付 申添候 昭和四年二月廿二日 兄 中島 猛 外親戚一同

公債、兩替 債券貸商 多田井ワカ商店 平町大工町

青沼伏見の兩派 正面激突す

伏見派猛然と起ち 形勢俄に逆轉の型

風か？雨か？明日の町會

中町の町長選挙は愈々明日に迫つた、旬日間の形勢では青沼派が優勢と目され大勢を支持するの姿であつたが、愈々期日の切迫と共に

現町長派 は猛然と起ち死に物狂への大運動を開始するに至つた爲め、形勢は昨日來俄かに逆轉して伏見派の勢力がなごり難く當落は何れにせよ僅に二三票の差と目される形勢を示すに至つた、多分是れは今迄青沼氏が先輩の故を以つて

遠慮勝ち であつた伏見氏が愈々最後の肚裡を決し「奮起」を覚悟するに及

助役の品さため 野崎氏一派の策動

現町長を擔いで置いて 吉田氏を助役にこの腹

町長改選問題と共に注目しているのは野崎、萩原、吉田佐藤四氏の即ち民政

小數派の 人々の態度である即ち此の一派は最初青沼派に對抗すべく元石城郡長であつた縁故をたどり警備隊水野課長に就任を懇願したが容れられず今では伏見氏を擁立し極力その

の犬馬の勢をどつて居るが夫れと云ふのは來月相次いで 來る助役の改選に當り同派の吉田五平氏を推舉せん意圖と傳へられ一方是れに對して佐々木龍若氏を助役の適任と認め内々諒解を求め向もあつたが本人が不承諾の意を示して居るから到底

當選した火防文藝

昨日平署で嚴密審査

平警察署に於て去月廿八日火防宣傳日に際し管内全部に亘り小學生徒から募集した火防宣傳文藝は

圖畫七十二點、綴方四十六點、標語二百廿八點、の多きに達し既記の如く昨日午前十時から平署樓上に於て審判長猪狩署長始め審査委員たる平田次席警部補伊藤特高主任、橋谷田消防主任井上平組頭、佐藤鹿島組頭、木村神谷組頭、嚴重審査の結果、その出來榮えの巧拙を問はず火防上有効又は火災消防上注意の深刻如く入賞者を選び左記の特等、童謡

好問尋五、佐伯正徳一、(一)さびしい夜中に鐘が

鳴る、こはい音ですよあの音は、お父さんや兄さん、一生けんめい働いて、作つた家のやける音こはい音ですよあの音は

(二)風の吹く夜に鐘が鳴るいやな鐘ですあの音は日々々働いて、縫つた着物の燃える音、いやな音ですあの音は

(三)火事はいやですこはいもの、みんな火事の用心を致しませう

一等 平第一高三根本政雄 此位で良らうが火事の元二等 平達高吉田ハル子 残火は眠れる獅子と思へ三等 夏井高一木田榮一

その實現 は至難なるべく、また青沼氏が町長就任後伏見氏を助役に當てんとする降格對應の策は目前の狀勢から見て一片の書餅に比しく今日の場合是非はものにならない

青沼氏に 待つ處多し

青沼派語る

青沼氏を擁立して居る某急先鋒は左記の如く語る「青沼氏は多年郡長も務められ自治行政の上に信するに足るべき充分な手腕力量を備へた人格者であり且つ

郷里は 平町であるから氏として何等後顧の憂ひのない今日郷黨の爲めに働いて貰ふ事が出来れば町民の爲めに頗る幸福と考へる、青沼氏の町長説は伊坂町長時代からの事であり、町長時代の都合から其の時を得なかつた爲め

今日に 及んだのであるが是れからは町としても餘程シツカリしてかゝらねばならぬ場合に立ち至つて居るのでは是非共青沼氏に

決意を迫つた次第である、青沼氏が町長になる事に就いて何か俸給目當てにでも出るかの如く傳へて居るものもあるが決して

左様な 譯ではなく勿論名譽町長として就任する、事であり且つ金錢等に支配される、様な人でない事は世間がよく氏の人格を認めて然るべきであらうと思ふ

伏見氏なれば 一舉兩得也

伏見派語る

「町長時代に何等の失態がなく極力町治の爲めに健闘された、のみならず昭和四年度の豫算面の上に重大性を帯びて居る新事業や新計畫が仲々に多い、是等を完全に遂行實現するには今迄其の事に手を染めて居た伏見氏が適任である、伏見氏が退職するとなれば三千とか五千とかの慰勞金も贈らねばならない、是れは今日の町の財政としても仲々の負擔であり若し現職に在る



家庭欄

◆昆布を軟かく煮る 昆布やわかめを早く煮るに軟かく煮るには、大豆一つまみを入れて煮るとよろし

◆あくぬき秘訣 午勞その他の料理につきまして灰分をぬくことが大變でありますもしほごよく切つて水に酢を少々ませたもの、中へつけておき、十分間位た

とすれば其の事なくして済むのであるから一舉兩得と云ふべきであるまいか」

明日の町會 議案山の如し

町民は説明後 退席する豫定

既報明廿三日午前十時から平町會附議事項は左記の如くにて伏見町長は議案の説明を終るや直ちに退席する豫定である

▽昭和四年度平町歳入出豫算の件▽同年度平町特別會計水道給水事業費歳入出豫算の件▽町長選挙の件▽臨時營業稅雜補稅附加稅不均一賦課の件▽町税制限外課稅の件▽町税賦課率に關する件▽小學校授業料徵收規定の件▽商業學校學則變更の件▽小學校地買收費費攤年費攤年費及支出方法の件▽土木費繼續年費及支出方法の件▽町役場位置變更の件▽町有地賣却の件▽昭和四年度土木費攤補助申請の件▽昭和四年度平町歳入出決算報告の件▽昭和四年度平町特別會計水道給水事業費決算報告の件▽水道給水條例更正の件▽平商業學校組織變更の件▽昭和三年度平町歳入出豫算更正の件

つてから取上げそれから味つけ料理をいたしますと眞黒にならず美しい料理が出来るものであります

天氣豫報 北東の風 雨模様

火元の兒學校歸りに泣き通し

三等 平第一高三市川芳雄 人の寝る頃火は起る

同 好問尋五佐藤安一 火の用心壁にははより胸にはは

同 神谷尋六須藤ツナ 守れ火の元火事の元

四等 平第一高三谷地福雄 火事は不始末の家も出づ

同 同高二 伊藤勇 勉強と火の元は人にたよるな

同 好問尋五伊藤キミエ 子供の火遊び火事の元

同 小川尋五白石カツ 火事で残るは灰ばかり

同 平第一尋六根本榮雄 火の元一軒萬さわがし

五等 鹿島高一三島忠恕 火の氣あれば見る氣になれ

同 高久尋八木沼重太郎 一寸の油斷が焼野原

同 平第一尋五小野勝夫 火防の家は福來る

同 平第二尋五平井鐵三郎 用心第一火の始末

同 好問高一 森康子 火事は國家の富をけする

同 鉦なり

同 平第三尋三佐々木ヨネ 寝る前の用心一過り

同 好問高一阿部ツツエ 水に勝つ火も注意にまけ

同 飯野尋五 直井照次 無火災は村のほまれ

同 圖畫(一等)小名濱高一 作上繁(二等)平第一高一 助川登、湯本尋五高橋芳雄(三等)好問高二岩佐貞美、平第一尋五大坦退衛

豊間高一鈴木正秀(四等) 豊間高一秋山豊、湯本高一 佐藤惣次、飯野尋六江尻一、平第一高一松本政雄、小川尋六草野知代子(五等)神谷高二應崎繁

彌、同高二佐藤義平、平第一尋五船山勝衛、平第一尋四志賀幸子、同第一高菅野林作、同村上行夫 赤井尋五平岡清雄、豊間高二鈴木西三

圖畫方▽(一等)平第一尋六高萩實▽(二等)吾輩本己之吉(火防宣傳)好問高一一大和田リ▽(三等)火防宣傳)玉川尋六渡邊清匡(火災豫防)合戸尋六合津房子(譽れある我が村)夏井高二新妻倭子▽(四等)警備隊二久保邦彦 平第二尋三齊藤喜代子、平第一尋六平田浩、神谷高平一鈴木フミ子、平第一尋四青山新太郎▽(五等)夏井尋五木田イタク、湯本尋六遠藤タツ子、玉川尋二永崎キイ子、平第一尋四武田泰三、同尋六富田二郎、小名濱高三渡邊カツエ